

令和2年滋賀県観光入込客統計調査結果について

◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数は大幅減 ◆

1. 概要

(1) 調査方法

令和2年の観光客の入込状況について、県内の市町から寄せられた報告を集計したもの

(2) 調査地点

県内の観光地で年間入込客数が1,000人以上見込まれる観光地において調査を実施し、656地点について計上した。

(3) 調査の期間

令和2年1月から令和2年12月までの1年間の調査を集計

※観光入込客数は全て延べ人数です。

2. 調査結果

(1) 令和2年滋賀県観光入込客数 [別表1]

観光入込客数	：	36,414,300人で、前年比17,621,800人(32.6%)減少
宿泊客数	：	2,423,000人で、前年比 1,658,500人(40.6%)減少
外国人観光入込客数	：	117,562人で、前年比 552,902人(82.5%)減少
外国人宿泊客数	：	40,472人で、前年比 301,577人(88.2%)減少

【概要分析】

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの観光施設で閉館、休業、入場制限等をされたこと、花火大会や祭りなどのイベントが中止になったこと、外国人の入国制限等の措置が取られたことなどから、日帰り客数および宿泊客数を合計した観光入込客数は、前年よりも17,621,800人少ない36,414,300人(▲32.6%)となり大幅に減少した。

また、国のGo Toトラベルや県の宿泊キャンペーン「今こそ滋賀を旅しよう!」、市町独自の施策等により6月以降回復傾向が見られたが、8月、11月頃から感染者が再び増加したこともあり、全体として前年の水準まで回復するには至らなかった。

一方で、キャンプ場、ゴルフ場等の一部の施設では、観光入込客数が前年を上回っていることから、比較的3密を避けやすいアウトドア関連施設の人気が高まったと考えられる。

なお、観光消費額は、1,329億円であり、令和元年の2,035億円から706億円減少(▲34.7%)した。

※観光消費額単価(日帰り:4,387円、宿泊:20,010円)

<観光入込客数および前年増減率>

	令和2年計(人)	令和元年計(人)	令和2年－令和元年(人)	対前年増減率
日帰り客数	33,991,300	49,954,600	▲ 15,963,300	▲ 32.0%
宿泊客数	2,423,000	4,081,500	▲ 1,658,500	▲ 40.6%
観光入込客数	36,414,300	54,036,100	▲ 17,621,800	▲ 32.6%

<外国人観光入込客数>

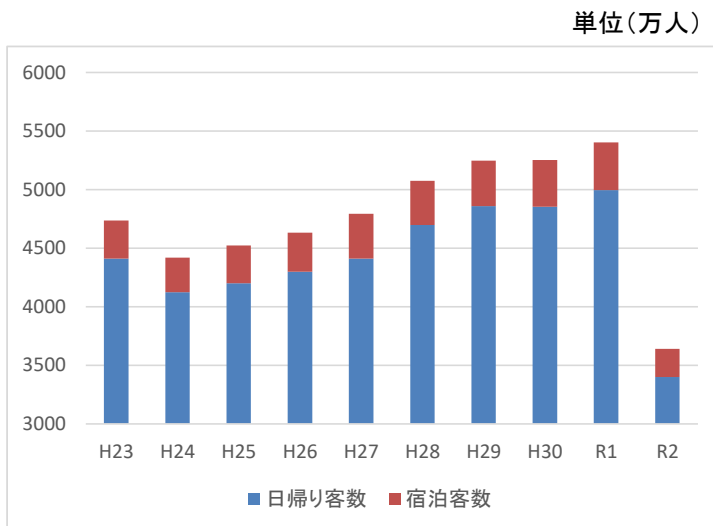
	令和2年計(人)	令和元年計(人)	令和2年－令和元年(人)	対前年増減率
日帰り客数	77,090	328,415	▲ 251,325	▲ 76.5%
宿泊客数	40,472	342,049	▲ 301,577	▲ 88.2%
観光入込客数	117,562	670,464	▲ 552,902	▲ 82.5%

(2) 観光入込客数上位の施設 [別表2]

観光入込客数が最も多かったのは、「ラ コリーナ近江八幡」(近江八幡市)で、昨年に引き続き1位となった。2位は、「多賀大社」(多賀町)で昨年の3位から一つ順位を上げた。

[別表1] 年別観光入込客数の推移

年	観光入込客数	日帰り客数	宿泊客数
H23	47,357,300	44,118,700	3,238,600
H24	44,191,300	41,229,000	2,962,300
H25	45,226,900	42,020,300	3,206,600
H26	46,328,600	43,002,300	3,326,300
H27	47,941,200	44,112,400	3,828,800
H28	50,767,300	46,990,000	3,777,300
H29	52,481,000	48,607,400	3,873,600
H30	52,536,200	48,544,100	3,992,100
R1	54,036,100	49,954,600	4,081,500
R2	36,414,300	33,991,300	2,423,000



[別表2] 令和2年観光入込客数ベスト30

(単位: 人)

【参考】令和元年

順位	観光地名	市町名	観光入込客数
1	ラ コリーナ近江八幡	近江八幡市	2,331,300
2	多賀大社	多賀町	1,612,100
3	黒壁ガラス館	長浜市	1,207,700
4	草津川跡地公園 (区間2・区間5)	草津市	770,100
5	道の駅 藤樹の里あどがわ	高島市	757,900
6	道の駅 妹子の郷	大津市	718,000
7	道の駅 あいとうマーガレットステーション	東近江市	645,300
8	道の駅 竜王かがみの里	竜王町	528,100
9	希望が丘文化公園	野洲市、湖南市、竜王町	496,900
10	近江神宮	大津市	491,000
11	道の駅 アグリパーク竜王	竜王町	462,000
12	日牟禮八幡宮	近江八幡市	451,000
13	道の駅 びわ湖大橋米プラザ	大津市	442,800
14	びわ湖バレイ	大津市	434,200
15	道の駅 せせらぎの里こうら	甲良町	402,700
16	比叡山ドライブウェイ	大津市	394,400
17	矢橋帰帆島公園	草津市	386,700
18	道の駅 塩津海道あぢかまの里	長浜市	381,900
19	道の駅 伊吹の里	米原市	369,100
20	彦根城	彦根市	367,300
21	陶芸の森	甲賀市	362,700
22	ファーマーズマーケットおうみんち	守山市	348,500
23	道の駅 アグリ郷栗東	栗東市	344,400
24	道の駅 奥永源寺溪流の里	東近江市	338,800
25	田村神社	甲賀市	333,000
26	比叡山延暦寺	大津市	316,400
27	太郎坊宮	東近江市	298,900
28	奥びわスポーツの森	長浜市	293,200
29	近江富士花緑公園	野洲市	278,600
30	道の駅 くつき新本陣	高島市	262,800

順位	観光入込客数
1	3,226,900
3	1,783,300
2	2,227,700
8	774,500
4	855,100
6	837,000
7	782,200
11	628,800
5	843,500
-	-
16	509,000
10	715,000
12	559,000
-	-
21	420,900
13	530,500
14	514,900
24	404,100
25	390,200
9	766,700
20	421,500
30	340,800
29	345,200
-	-
26	389,500
15	513,500
18	499,300
-	-
-	-
-	-

(公開了承施設についてのみ掲載しています。)

(“-”の施設については前年31位以下または公開非了承)

①観光目的別観光入込客数の内訳

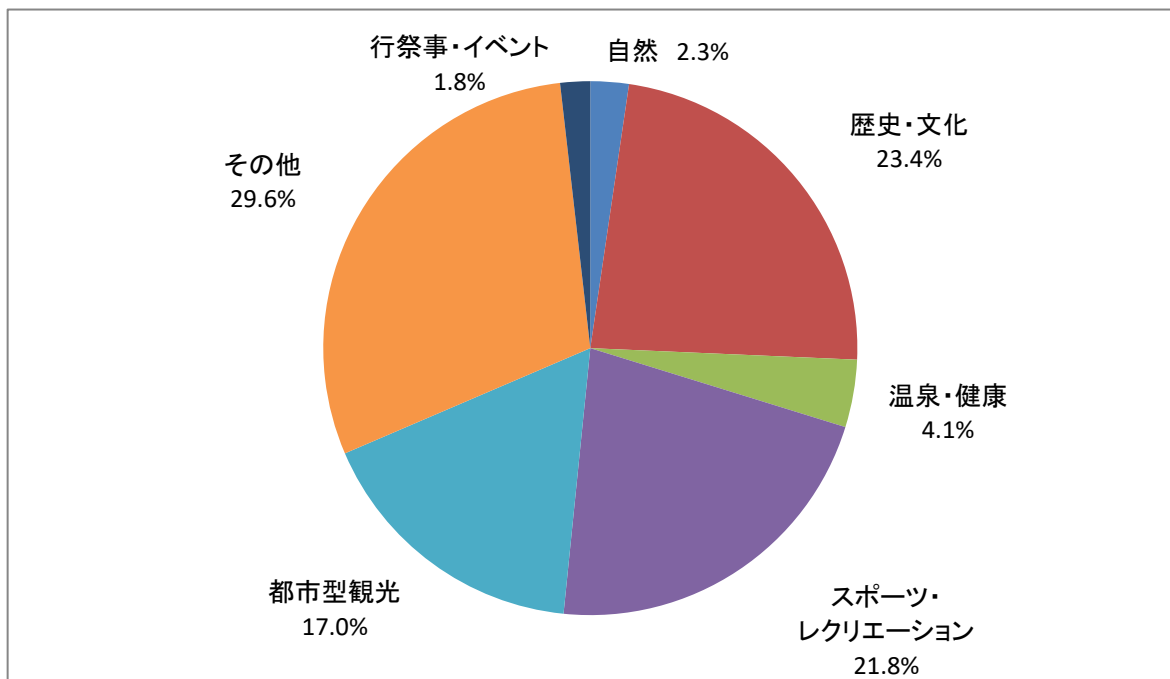
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのイベントが中止になったことから、行祭事・イベントの対前年減少率が最も大きい。
- 行祭事・イベント以外の観光目的において、前年と比べて観光入込客数は大幅に減少しているが、比率の大きな変化は見られない。
- 宿泊施設や道の駅等が含まれる「その他」が全体の29.6%を占めた。

表1 目的別内訳

目的		観光入込客数 (千人)	比率	対前年 増減率	前年観光入込客数 (千人)
観 光 地 点	自然	845	2.3%	▲24.3%	1,116
	歴史・文化	8,510	23.4%	▲31.9%	12,496
	温泉・健康	1,489	4.1%	▲36.6%	2,348
	スポーツ・ レクリエーション	7,946	21.8%	▲28.1%	11,049
	都市型観光	6,173	17.0%	▲28.3%	8,612
	その他	10,793	29.6%	▲26.7%	14,734
	行祭事・イベント	659	1.8%	▲82.1%	3,682
合 計		36,414	100.0%	▲32.6%	54,036

(注意) 端数の関係上、合計と一致しないことがある。

グラフ1 目的別内訳



②季節別観光入込客数の内訳

- 観光入込客数、宿泊客数ともに新型コロナウイルス感染症の影響が比較的少なかった1月、2月が含まれる「冬」の対前年減少率が最も小さく、緊急事態宣言が全国に発令された4月、5月が含まれる「春」の対前年減少率が最も大きい。
- 観光入込客数、宿泊客数ともに国のGo To トラベルや県の宿泊キャンペーン「今こそ滋賀を旅しよう!」、市町独自の施策等が開始されたことにより、「夏」から「秋」にかけて対前年増減率の減少幅は縮小傾向にあった。
- 前年と比較して、春の比率が減少（観光入込客数：▲12.5pt、宿泊客数：▲13.6pt）し、「秋」、「冬」の比率が増加（観光入込客数：「秋」+5.7pt、「冬」+8.2pt、宿泊客数：「秋」+9.2pt、「冬」+8.5pt）した。

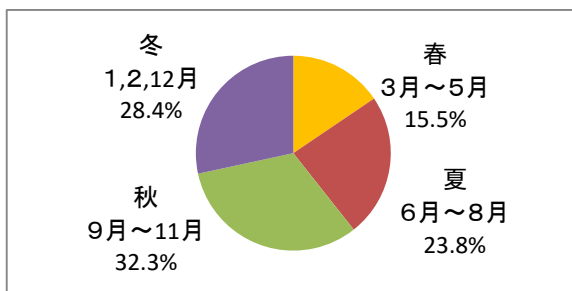
表2 季節別内訳

季節	観光入込客数(千人)	比率	対前年増減率	前年観光入込客数(千人)	宿泊客数(千人)	比率	対前年増減率	前年宿泊客数(千人)
春 3月～5月	5,656	15.5%	▲62.6%	15,139	327	13.5%	▲70.4%	1,105
夏 6月～8月	8,674	23.8%	▲36.2%	13,587	601	24.8%	▲49.2%	1,182
秋 9月～11月	11,748	32.3%	▲18.3%	14,374	843	34.8%	▲19.2%	1,043
冬 1, 2, 12月	10,337	28.4%	▲5.5%	10,935	652	26.9%	▲13.2%	751
合計	36,414	100.0%	▲32.6%	54,036	2,423	100.0%	▲40.6%	4,082

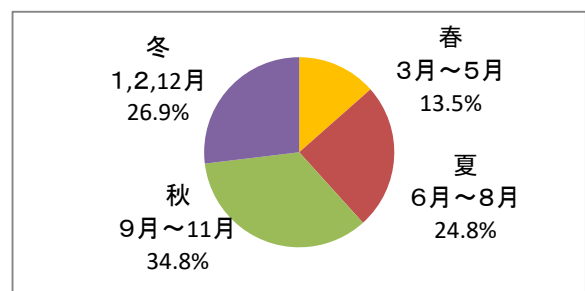
(注意) 端数の関係上、合計と一致しないことがある。

グラフ2 季節別内訳

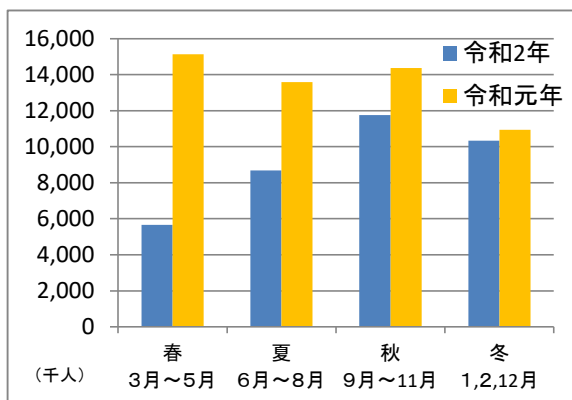
▼観光入込客数比率



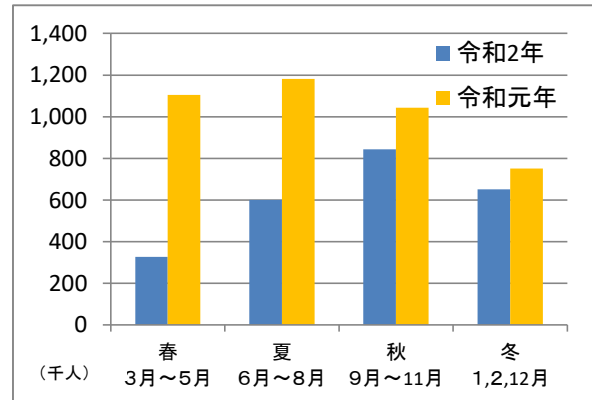
▼宿泊客数比率



▼観光入込客数



▼宿泊客数



③地域別観光入込客数の内訳

- 「大津」の観光入込客数における対前年増減率の減少幅は、他の地域よりも大きくなっている。新型コロナウイルス感染症の影響による観光施設等への観光入込客数の減少に加え、びわ湖大花火大会等の大規模イベントの中止等による影響が要因として考えられる。
- 「甲賀」の観光入込客数における対前年増減率の減少幅は、他の地域よりも小さくなっている。比較的3密を避けやすく人気であったゴルフ場への観光入込客数の減少率が他の施設等よりも小さいことや一部では前年を上回っていること等が要因として考えられる。
- 前年と比較して、観光入込客数、宿泊客数ともに大きく減少しているが、全体に占める各地域の比率については、大きな変化は見受けられなかった。

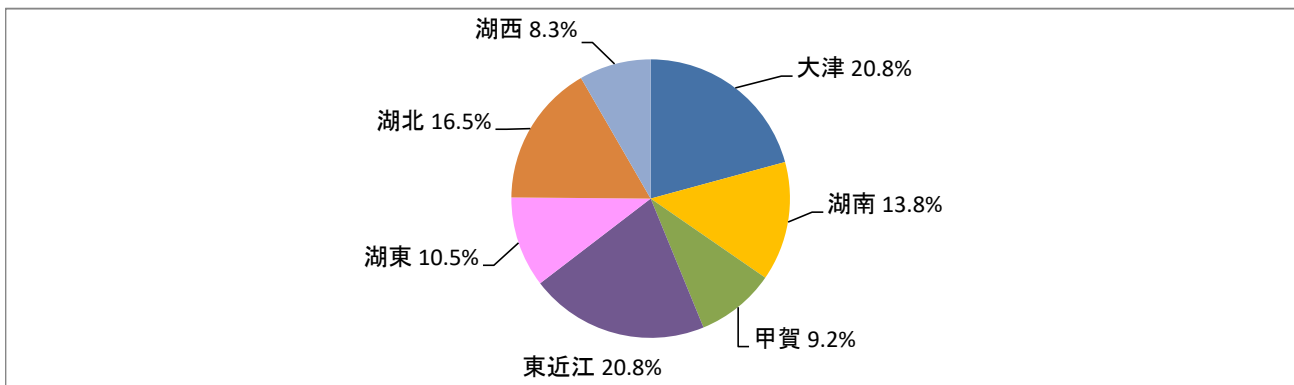
表3 地域別内訳

地域	観光入込客数 (千人)	比率	対前年 増減率	前年 観光入込 客数(千人)	宿泊客数 (千人)	比率	対前年 増減率	前年 宿泊客数 (千人)
大津	7,563	20.8%	▲ 41.4%	12,903	732	30.2%	▲ 45.7%	1,348
湖南	5,042	13.8%	▲ 26.9%	6,897	363	15.0%	▲ 35.5%	563
甲賀	3,347	9.2%	▲ 21.2%	4,245	169	7.0%	▲ 23.9%	222
東近江	7,568	20.8%	▲ 30.1%	10,822	225	9.3%	▲ 37.5%	360
湖東	3,840	10.5%	▲ 36.9%	6,083	326	13.5%	▲ 29.6%	463
湖北	6,019	16.5%	▲ 32.5%	8,921	396	16.3%	▲ 40.6%	667
湖西	3,035	8.3%	▲ 27.1%	4,166	213	8.8%	▲ 53.5%	458
合計	36,414	100.0%	▲ 32.6%	54,036	2,423	100.0%	▲ 40.6%	4,082

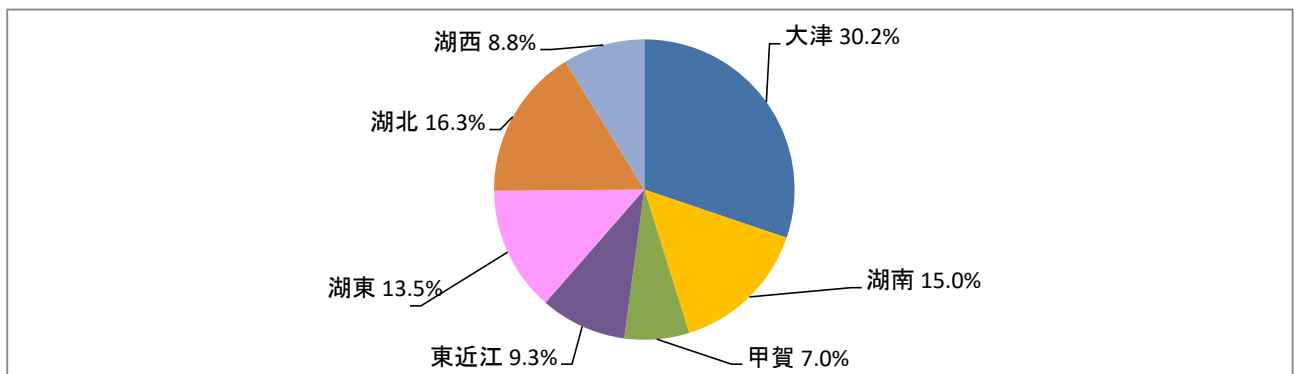
(注意) 端数の関係上、合計と一致しないことがある。

グラフ3 地域別内訳

▼観光入込客数比率



▼宿泊客数比率



観光入込客数推移

